保育所における自己点検・自己評価

笠原ひまわり保育園

A：たいへんよい　　B：よい　　C：一部検討を要する

保育目標について	個別評価		全体評価	意見・改善策
(1) 保育目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	A	12	A	・目標等は保育の先生方がよく考えてくださっていると思います。 ・保育所保育指針を再度見直した全体の計画をもとに各クラスの計画を見直した。毎年、より園にそった目標を立案する為検討できればと思う。 ・各クラスや以上児、未満児それぞれでは職員間での検討や共通理解が図れていると思うが、以上児と未満児との共通理解を図ることは時間等の関係もあり、難しさを感じる。 ・必ずしも全職員が共通理解できているとは言えない。また、抜けなく覚えているということ自体も難しい。最低限、クラス運営をするにあたり、以上児と未満児それぞれで理解しておくべきことはあるので、各自がその意識をもつことは大切かと思う。
	B	4		
	C	0		
(2) 目標は、各施設や地域の特性をいかしているか。	A	11	A	
	B	5		
	C	0		
(3) 目標は、前年度の反省をいかしているか。	A	9	A	
	B	7		
	C	0		
(4) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	A	5	B	
	B	11		
	C	0		

保育について・日時程	個別評価		全体評価	意見・改善策
(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	A	10	A	・素材については、古い物がそのまま残っていることも多いので、大掃除だけではなく、時折、各自で整理整頓をしていく意識が必要だと思います。何か足りないと思って購入した後に、まだ残っていたとなることも多かったです。 ・環境構成は今年度の子どもたちに合わせ、日々話し合いながら設定できていると思う。 ・素材、用具に関しては、使えている物、使えていない物で差が出てしまう。ある物を意識して保育に活用しようとは考えているが、計画的にいかないこともある。今年度はアスレチックが活用できなかった(未満児)。理由として、歩ける子が少なかったこともあるので、後半もう少し活用できたらと思う。また、用具、素材の整理整頓を個々に意識ができると、何があって何が使えるか相談しやすくなると思う。 ・製作コーナーを設け、様々な廃材を用意することで、子どもたちが主体的に発想を膨らませ、素材や用具を適切に活用できる環境が設定できている。 ・自由製作における素材を集めているが、本当に今の量が必要なのか再検討が必要。教材や備品も様々な物を買う前にきちんと精査し、同じ物があるという状態にならないようにするべき。
	B	6		
	C	0		
(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	A	11	A	
	B	6		
	C	0		
(3) 環境の構成を意識した保育や過程を工夫しているか。	A	9	A	
	B	7		
	C	0		
(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	A	8	A	
	B	8		
	C	0		
(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	A	9	A	
	B	8		
	C	0		
(1) 1 日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。	A	9	A	・問題ないと思う
	B	6		
	C	0		

行事について	個別評価		全体評価	意見・改善策
(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	A	9	A	・(1)職員の人数によって、適切かどうか変わると思う。人数に応じて、無理のないようにするのが適切だと思う。 ・行事は担当になって全体が見えたこともあり、自分の見通しのなさで迷惑をかけてしまった反省です。 ・行事によって担当者への負担が大きいものがある。もう少し簡単な方向へならないかと思う。 ・行事そのものは他園に比べて少ないと思うが、突発的に入る園外保育は多いと感じる。そのため負担に思う職員が多いのではないかと考える。イベントが多いと日々の自由遊びは減る。
	B	7		
	C	0		
(2) 行事のねらいを計画や実施に十分いかしているか。	A	10	A	
	B	7		
	C	0		
(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	A	11	A	
	B	5		
	C	0		
(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	A	10	A	
	B	6		
	C	0		
(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	A	9	A	
	B	7		
	C	0		

経営・組織　分掌・体制	個別評価		全体評価	意見・改善策
(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	A	8	A	・仕事量に偏りがある。 ・シフトに NCT と明記してくれたことで、昨年度よりも職員間で声をかけ合えたと思う。また、シフトに書いていなくても、意識的に考えるようになれた。 ・行事や活動に関して、協力しあおうという気持ちは皆あると思うが、そこに遠慮がうまれてしまうからなのか、結果、今年度は担当職員の負担が大きくなってしまったようにみえた。大きな行事から小さな行事まで、担当がお願いした事(反省や何かを用意する等)に対して、こえたる職員に差がうまれていたように思う。担当職員の負担をへらす為にどう分担すればよいか考えると、大きな行事の担当はやはり人数を増やした方が意識付けになると思うが、答えがでない。 ・個人により仕事量の偏りがあるのは否めず、複数の担当がいても差が出ている。できる人がやればよいということは、一個人に仕事が集中し、その人がいないと仕事が回らなくなることもあり、できる範囲の業務の分散化は組織にとって必要なことかと考える。しかし、個人の雇用形態や能力に差もあることも配慮しなければならないため、難しい問題でもある。
	B	8		
	C	0		
(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	A	6	B	
	B	9		
	C	1		
(3) 職員の配置は適材・適所か。	A	5	B	
	B	11		
	C	0		
(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	A	3	B	
	B	9		
	C	4		

経営・組織　運営	個別評価		全体評価	意見・改善策
(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	A	8	A	・会議では意見を言う職員がいつも決まっているような気がします。私自身もすぐに意見が話せない時もあるので、事前に用紙を確認して何を話すのか、伝えるかを考えておく必要があると思います。大きな決定のものは丁寧に事前に“意見を話すので考えてください”と教えていただいているが、小さなものについても皆で様々な意見を出し合えるといいかな、と思います。
	B	8		
	C	0		
(2) 職員相互がそれぞれ全体的に立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	A	4	B	
	B	12		
	C	0		
(3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。	A	6	B	
	B	9		
	C	0		

経営・組織　年齢別・クラス経営	個別評価		全体評価	意見・改善策
(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	A	12	A	・“ひまわりの保育”という部分において、個々で理解の差を感じることがあります。また、日中の保育中、職員同士の世間話が多いのでは？と感じる場面があります。その為、トラブルの仲裁に入る職員がだいたい固定になっていることも気になります。続けてもう一点ですが、職員数名が同じ場所に固まっていることも多く感じます。特に、朝・夕は受け入れ、送り出し、その他の子どもの遊ぶ様子の見守り、電話の対応など忙しいと思いますが、だからこそ声を掛け合って広く周りを見れるように職員が見ていく必要があると思います。 ・年齢や発達に応じた目標設定になっていると思う。異年齢での関わりについて、子ども同士の育ちにつながるよう、これからも心掛けていきたい。 ・自園の保育方針を理解しているのか疑問に思う時がある。例えば、絵では大人が描いて見せたり、指示をしたりしない。場合によっては、真逆のことをする必要性に迫られることもあるが、基本的な保育方針はわかっていもよいと思う。それらについて、園長からおろしてもらうのを待つという受け身の姿勢ではなく、自分から知っていくということは大切なことかと考える。
	B	4		
	C	0		
(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	A	12	A	
	B	4		
	C	0		
(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	A	11	A	
	B	5		
	C	0		
(4) 同年齢及び異年齢間の効果的な活動の充実を図っているか。	A	12	A	
	B	4		
	C	0		
(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	A	9	A	
	B	6		
	C	1		
(6) 評価、資料(議事録)を集積しているか。	A	9	A	
	B	6		
	C	0		

経営・組織　保健・安全指導	個別評価		全体評価	意見・改善策
(1) 年齢別・クラス経営に活かされるような具体的な保健対策を講じているか。	A	11	A	・避難訓練を行うたびに、経路の確認や安全への意識を高めることができている。 ・スタンダード・プリコーション(標準予防策)を基本に、感染症の動向を見極めて、都度感染症対策を行っているが、今年度はインフルエンザの流行がみられた。何が原因、これが悪かったというはっきりとした原因があるものではないので、これからも都度、見極めと必要な対策を実施する事を続けていく。 ・保健、安全面に関して、全面的に越智さんに行っていただいているので感謝です。 ・薬について、もう一度全体で話、基本的な方針を統一する必要があると思う。
	B	5		
	C	0		
(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	A	13	A	
	B	3		
	C	0		
(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	A	10	A	
	B	6		
	C	0		
(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	A	10	A	
	B	7		
	C	0		

研究・研修　所内研究・研修	個別評価		全体評価	意見・改善策
(1) 研究課題は、保育目標の具体化につながるものであるか。	A	5	B	・研修に参加することで、自分の保育を振り返ることにもつながっている。 ・日曜日の研修はやめてほしい。せめて土曜日。 ・研修報告書を作成することで、研修内容を職員間で共有し、日々の保育に取り入れられるよう意識している。 ・今年度も多くの研修に参加させていただいた。どの研修をどの職員が受けたらよいかもよく考えられた上で参加させていただいたと思う。 ・所内外にて研修を受ける機会を設けてくださることに感謝。自分だけではなく、ほとんどのことが仕事に還元できていると感じる。
	B	8		
	C	0		
(2) 所内研修の計画・運営は適切か。	A	9	A	
	B	8		
	C	1		
(3) 研究の成果を日常の保育にいかし、乳幼児の育ちに反映させているか。	A	6	B	
	B	9		
	C	0		
(4) 研修の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	A	7	B	
	B	8		
	C	0		

研究・研修　所外研究・研修	個別評価		全体評価	意見・改善策
(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加体制の充実を図っているか。	A	9	A	・キャリアアップや研修会(オンデマンド)の時間をシフトの中に設けていただいているので計画的にできている。 ・研修報告については、回覧においても見る時間がないので、期限を決めてクラスに回していくのはどうか？ ・今後も必要に応じてシフトの中に組んでいく。
	B	8		
	C	0		
(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	A	10	A	
	B	7		
	C	0		

情報について	個別評価		全体評価	意見・改善策
(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	A	13	A	
	B	3		
	C	0		
(2) 公文書収受、発送、処理を適切に行っているか。	A	9	A	
	B	5		
	C	0		
(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	A	9	A	
	B	6		
	C	0		

施設・設備	個別評価		全体評価	意見・改善策
(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている。	A	8	B	・園児の健康日誌についてです。前日の体調不良や欠席児がいた際に、翌日早番職員への受け入れ時の伝言を記入していると思うのですが、早番にて新しい紙が入っておらず、という時がありました。各クラスの担任が、記入を忘れないように意識していくのがいいと思います。 遅番職員が翌日の紙をファイルに挟み、その内容を遅番掃除チェック表に入れるのもいいかもしれませんが、遅番の負担が増えてしまうので悩みどころです。 ・安全点検を継続し、気付いた点については早めの改善・共有を意識していきたい。 ・遊具、用具について、今年度はコンテナの中に、フライパンを整理するなど、子どもたちが使いやすいようになったと思う。 ・不審者に対する対策について、池田小での避難訓練の様子を職員全員で確認し、改めて重要性を認識でいたのではないかと思う。まだ、不十分と思われる部分は警察の方の助言を受けながら検討していければと思う。 ・不審者対応について、実際にアドバイス(指導)をもらえるのはよい機会なので、今後も水戸署へ依頼していきたい。
	B	10		
	C	0		
(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	A	7	B	
	B	9		
	C	0		
(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	A	7	B	
	B	9		
	C	0		
(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	A			
	B			
	C			

出納・経理	個別評価		全体評価	意見・改善策
(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	A	12	A	
	B	4		
	C	0		

開かれた保育所づくり(施設間交流・連携)	個別評価		全体評価	意見・改善策
(1) 他施設との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。	A	6	B	
	B	9		
	C	0		
(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で(乳)幼児が楽しく過ごした充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	A	7	B	・小学校の参観は全員が行けるわけではないが、学校から招待される機会があるので興味のある職員は行けるといい。 ・保幼小の架け橋プログラムについて、実際は学校側はあまりよく思っていないことがわかり、その類の研修は無意味に思ってしまう。 ・小学校の教育を理解するのであれば、就学に向けて、やるべきことを小学校の考えを知りたいし、園で何をしていくのかを皆で把握していくといいのかと思う。
	B	8		
	C	0		
(3) 指導者同士が、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対しての理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	A	6	B	
	B	9		
	C	0		
(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、小学校等の教育を理解することに努めているか。	A	7	B	
	B	9		
	C	0		
(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動にいかしているか。	A	6	B	
	B	9		
	C	0		

開かれた保育所づくり(家庭・地域社会との連携)	個別評価		全体評価	意見・改善策
(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	A B C			
(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	A B C			
(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	A B C			
(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	A B C			

開かれた保育所づくり (子育て支援の推進・情報発信・外部評価)	個別評価		全体評価	意見・改善策
(1) 地域の子育て支援センターとして、園庭や中庭、保育室等を解放しているか。	A B C			・保護者支援については、その都度、難しさを感じることが多い(伝え方や内容を含め)。 ・保護者の個々の悩みに対し、丁寧にこたえられるよう全職員が心がけていると思うのと、自分の知識では足りない部分は相談し合うことができていると思うが、学習の機会となるとなかなか設定できていないとも思う。ただ、CAP 取り入れ、保護者の受講の機会を作ったので、継続できるとよいと思う。 ・人数が少ないこともあり、他園に比べてかなり丁寧に職員が対応していると思うが、職員も人なので疲労は蓄積する(ここでは主に精神的な面)。どこまでやるのが正解で、どこまで親に求めていいのか、線引きがかなりできなくなってきているのも感じる。丁寧すぎるがゆえに、親の要求も大きくなってきている気もする。 他の職員の意見もききたい。
(2) 地域に住む子ども同士、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	A B C			
(3) 「子育て支援について」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	A B C	5 10 0	B	
(4) 職員による育児にかかる「子育て相談」は充実しているか。	A B C	8 8 0	A	
(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	A B C	11 4 0	A	
(6) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等での施設の情報を発信しているか。	A B C	12 4 0	A	・親子給食を導入して 2 年目だが、好評かと思う。来年度も続けられたらいい。
(7) 行事等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	A B C	4 9 0	B	
(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	A B C			
(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	A B C	8 4 0	A	